

第133回幹事会議事要旨

日時 平成23年9月1日(木) 13:30~20:45

場所 日本学術会議5A会議室

出席者 (会長) 広渡 清吾

(副会長) 大垣眞一郎、秋山 弘子、唐木 英明

(第一部) 小林 良彰、木村 茂光、酒井 啓子、白田 佳子

(第二部) 浅島 誠、山本 正幸

(第三部) 岩澤 康裕、後藤 俊夫、池田 駿介、永宮 正治

(事務局長) 齋藤 敦

(事務局次長) 飯島 信也

(課長等) 清水 誠、上平 春樹、中澤 貴生、石原 祐志、渡部 良一

審議事項等

1 前回議事要旨の確認が行われた。

2 以下の公開審議が行われた。

(1) 幹事会附置委員会(東日本大震災に係る学術調査検討委員会)の設置及び運営要綱の決定について承認された。

(2) 大学教育の分野別質保証推進委員会における分科会の設置及び分科会委員の決定について承認された。

(3) 分野別委員会運営要綱の全部改正について承認された。

(4) 「日本学術会議分野別委員会及び分科会等について」の一部改正について承認された。

(5) 以下の提言等について説明があり、審議の結果、承認された。

- ・回答「河川流出モデル・基本高水の検証に関する学術的な評価」(案)(土木工学・建築学委員会河川流出モデル・基本高水評価検討等分科会、説明者:小池俊雄委員長)

- ・提言「若手アカデミー設置について」(案)(若手アカデミー委員会若手アカデミー活動検討分科会、説明者:駒井章治委員長、狩野光伸幹事)

- ・提言「持続可能社会における国土・地域の再生戦略」(案)(土木工学・建築学委員会国土と環境分科会、説明者:道奥康治幹事)

(6) 以下の提言等について説明があり、審議の結果、所要の修文を条件に承認された。

- ・提言「我が国の健康の社会格差の現状理解とその改善に向けて」(案)(基礎医学委員会・健康・生活科学委員会合同パブリックヘルス科学分科会、説明者:岸玲子委員長、小林廉毅委員)

- ・提言「地域で暮らす高齢者を支援する専門職の連携教育に向けて」(案)(健康・生活科学委員会高齢者の健康分科会、説明者:白澤政和副委員長、直井道子委員)

- ・報告「我が国の子どもの成育環境の改善にむけて-「成育空間の課題と提言(2008)」の検証と新たな提案」(案)(心理学・教育学委員会・臨床医学委

員会・環境学委員会・土・木工学・建築学委員会合同子どもの成育環境分科会)

- ・報告「学術における男女共同参画の加速に向けて」(案)(科学者委員会男女共同参画分科会、説明者:辻村みよ子副委員長、江原由美子委員)
 - ・報告「歯学分野の展望 課題とアクションプラン」(案)(歯学委員会、説明者:渡邊誠委員長)
 - ・報告「歯学教育改善に向けて」(案)(歯学委員会歯学教育分科会、説明者:前田健康委員長、渡邊誠委員)
 - ・報告「農業を活用した環境教育の充実に向けて」(案)(農業生産環境工学分科会、真木太一委員長)
 - ・報告「アイヌ政策のあり方と国民的理解」(案)(地域研究委員会人類学分科会、説明者:竹沢泰子委員、本多俊和委員)
 - ・提言「科学的根拠にもとづく事情聴取・取調べの高度化」(案)(心理学・教育学委員会法と心理学分科会、説明者:箱田裕司委員長、仲真紀子副委員長)
 - ・報告「未来を創る技術力発展のための科学・技術研究システムのあり方—材料工学を中心とした工学基盤技術を例として—」(案)(材料工学委員会材料構造化コンバージングテクノロジー分科会、説明者:豊田政男委員長、長井寿幹事)
 - ・報告「グリーン・イノベーション実現に向けての研究課題と展望—材料研究を中心として—」(案)(材料工学、総合工学、機械工学・建築学、化学委員会合同グリーンイノベーションの材料分科会、説明者:馬越佑吉委員長、長井寿副委員長)
 - ・提言「わが国の公衆衛生向上に向けた公衆衛生大学院の活用と機能強化」(案)(基礎医学委員会・健康・生活科学委員会合同パブリックヘルス科学分科会、説明者:岸玲子委員長)
 - ・報告「我が国の都市・建築の景観・文化力の向上をめざして」(案)(土木工学・建築学委員会景観と文化分科会、説明者:仙田満委員長)
 - ・提言「植物保護科学の展望—農業生産の向上と生物多様性—」(案)(植物保護科学分科会、説明者:上野民夫委員長、山根久和幹事)
- (7) 以下の提言等について説明があり、審議の結果、所要の修文について各部が責任を持つことを条件に承認された。
- ・提言「病院勤務医師の長時間過重労働の改善にむけて」(案)(基礎医学委員会・健康・生活科学委員会合同パブリックヘルス科学分科会、説明者:岸玲子委員長、高野健人委員)
 - ・提言「福祉職・介護職の専門性の向上と社会的待遇の改善に向けて」(案)(社会学委員会福祉職・介護職育成分科会、説明者:白澤政和委員長)
 - ・提言「21世紀における電気電子工学のあり方と果たすべき役割」(案)(電気電子工学委員会電気電子のあり方検討分科会、説明者:井筒雅之委員)
 - ・提言「生物多様性の研究・教育ネットワークとしての大学フィールド施設の活用に関する提言」(案)(基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同生態科学分科会、説明者:向井宏幹事)

- (8) 国際会議等関係について、南アフリカにおける国際シンポジウムに係る派遣について、また、3件の国際会議の後援が承認された。
- (9) 地区会議がそれぞれの地域の固有の問題に関し、提言または報告の案を提案することを可能にするための日本学術会議運営に関する内規の一部改正が承認された。
- (10) 規則関係について、以下が承認された。
- ・ 日本学術会議栄誉会員の称号の授与に関する幹事会決定案
 - ・ 幹事会と地区会議の連携に関する幹事会申合せ案
 - ・ 「緊急型」及び「早期型」の助言・提言活動に関する幹事会申合せ案
- (11) 会長補佐の指名等に関する幹事会決定案について、会長補佐を5名まで指名することができることとし、部長補佐を指名することができる規定については置かないことで決定した。
- (12) 5件のシンポジウム等の主催、5件の国内会議の後援が承認された。
- (13) 広渡会長より、「日本学術会議の機能強化に向けた課題項目（第22期への引き継ぎとして）」について報告があった。

3 以下の非公開審議が行われた。

- (1) 大学教育の分野別質保証推進委員会における分科会委員（特任連携会員）の決定について承認された。

4 今後の予定の確認が行われた。